

平成30年度 RAIMS活動報告会

－ モニタリングシステムの活用に向けたガイドラインの提案 －

日時

平成30年7月20日(金)
11:00～18:00(開場10:30)

場所

東京証券会館 8階ホール
東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

主催：モニタリングシステム技術研究組合 後援：インフラメンテナンス国民会議
株式会社 高速道路総合技術研究所

★参加費：無料

※事前申込みが必要です



近年、インフラ構造物の維持管理業務の重要性が高まる一方で、ICTの発達に伴いモニタリング技術の活用が注目されています。RAIMSでは、構造物の維持管理業務における点検や診断だけではなく、補修や補強などの様々な場面で有効なモニタリング技術について、構造物とその変状に応じて活用方法をまとめた「ガイドライン」を作成しています。地方公共団体の技術者が業務に速やかにモニタリングを取り入れるよう、図解や実証実験結果を豊富に取り入れた分かりやすい「ガイドライン」を目指しています。

RAIMSの概要

モニタリングシステム技術研究組合(RAIMS)では、道路・高速道路の管理者、ゼネコン、建設コンサルタント、電気・通信メーカー、センサ・設備メーカーと各分野の専門家の総力を結集し、管理者のニーズに合致した最先端のモニタリングシステムの早期実用化を目指しています。

【組合員】※順不同



前田建設

NIPPON KOEI

NOHMI

OKI

NEC

HITACHI

KYOWA

FUJITSU 鹿島

Japan Asia Group
国際航業株式会社

※プログラムの内容は変更になる場合があります

オープニングスピーチ
(11:00~11:30)

モニタリングへの期待

モニタリングシステム技術研究組合

理事長 **依田照彦**
(早稲田大学 名誉教授)

基調講演
(11:30~12:00)

インフラメンテナンスとモニタリング

国立研究開発法人 土木研究所

理事長 **西川和廣**

12:00~12:15	道路橋の維持管理に活用するためのモニタリング技術	国立研究開発法人土木研究所	石田雅博
12:15~12:30	モニタリングシステム活用ガイドラインの概要	東日本高速道路株式会社	本間淳史
12:30~13:30	(休憩)		
13:30~13:50	RC床版変位計測のガイドラインと不動梁法の適用確認	株式会社共和電業	立野恵一
13:50~14:10	低周波3軸加速度センサによる主桁のモニタリング	能美防災株式会社	中野主久
14:10~14:30	撤去桁を用いた破壊状態の検知	前田建設工業株式会社	小原孝之
14:30~14:50	振動モードを用いたモニタリング	日本電気株式会社	葛西 茂
14:50~15:10	塩害橋梁のモニタリング技術	日本工営株式会社	松山公年
15:10~15:30	質疑応答・意見交換		
15:30~15:50	(休憩)		
15:50~16:10	画像によるひび割れモニタリング	国際航業株式会社	伊礼貴幸
16:10~16:30	光ファイバによるひび割れモニタリング	鹿島建設株式会社	今井道男
16:30~16:50	無線加速度センサによる振動分析及び伝送性能の評価	沖電気工業株式会社	野崎正典
16:50~17:10	実橋における路車間通信データ収集	株式会社日立製作所	上松正史
17:10~17:30	モニタリングデータの保存と活用	富士通株式会社	菊地英幸
17:30~18:00	質疑応答・意見交換		

閉会挨拶

モニタリングシステム技術研究組合 理事 **石川雄章**
(東京大学 大学院 情報学環 特任教授)

会場のご案内

東京証券会館 8階ホール

東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

- ・東京メトロ 東西線・日比谷線
茅場町駅 8番出口直結
- ・東京メトロ 銀座線・東西線、
都営地下鉄 浅草線
日本橋駅 D2出口 徒歩5分
- ・JR東京駅 八重洲北口 徒歩10分



問い合わせ先

モニタリングシステム技術研究組合 (RAIMS)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-16 ISアルプスビル5F

電話: 03-5577-5400

e-mail: registration@raims.or.jp

【CPDプログラム認定団体】

公社) 土木学会	5.7 単位
一社) 建設コンサルタンツ協会	5.66単位
一社) 全日本建設技術協会	5.5 単位
一社) 交通工学研究会	7 単位